

|       |    |
|-------|----|
| 人間と思想 | 哲学 |
|-------|----|

[講義] 第1学年 後期 選択 2単位

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》森元良太（リハ）

# 【概 要】

現代の英米哲学の諸問題を正しく理解し、自然科学に関する哲学的問題へのさまざまなアプローチを学ぶ。まずは、哲学とはどのような学問であるかを理解し、哲学をするための論理的な思考法を習得する。次に、科学の諸特徴を学ぶことで、科学の本性を理解する。最後に、自然科学に関する哲学的問題を学ぶ。ニュートン力学と進化論を中心に、それらの理論が描く世界観を把握する。講義形式で一方向的に知を吸収するだけではなく、討論を通じて批判的思考法も習得する。

# 【学習目標】

## （一般目標）

現代に生きる私たちの思考の枠組みを理解するため、古代から現代までの哲学の流れを知る。

## （行動目標）

- ・現代哲学の諸問題とその解決策を検討することにより、哲学の論理的思考法を習得する。
- ・いまの私たちの常識の起源を探るために、アリストテレスの世界観に触れる。
- ・アリストテレスの世界観と近代以降の世界観を比較することで、現代の思考の枠組みを理解する。物質についてはニュートン力学の世界観、生命についてはダーウィン進化論の世界観を自分の言葉で表現できる。

# 【学習内容】

| 回  | テーマ         | 授業内容および学習課題                                                   | 担当者  |
|----|-------------|---------------------------------------------------------------|------|
| 1  | 哲学について      | 哲学の諸問題や特徴の理解を通じて、哲学という学問分野を概観する。                              | 森元良太 |
| 2  | 哲学について      | 哲学の道具としての推論を学ぶ。演繹論理、帰納論理、アブダクションの特徴を学習する。                     | 森元良太 |
| 3  | 哲学小史        | 哲学史を学ぶ。古代ギリシアから現代までの哲学の枠組み、およびその変化を理解し、現代に生きる私たちの思考の枠組みを知る。   | 森元良太 |
| 4  | 哲学小史        | 近代から現代に至る言語論的転回について学び、現代哲学の基本事項を身につける。                        | 森元良太 |
| 5  | 論理的思考       | アリストテレスの論理学を学ぶとともに、古典論理学の問題点を理解する。また、フレーゲ以降の現代論理学の基本事項を身につける。 | 森元良太 |
| 6  | 論理的思考       | ベーコンの帰納論理とパースのアブダクションの特徴を学ぶ。                                  | 森元良太 |
| 7  | 科学とは何か      | 科学の本性を理解するため、科学的説明の特徴について検討する。とくに、科学的思考における演繹論理と帰納論理の問題点を学ぶ。  | 森元良太 |
| 8  | 科学とは何か      | 帰納論理の問題点を理解する。反証可能性という科学の基準について検討する。                          | 森元良太 |
| 9  | 科学とは何か      | 近年科学で注目を集めているベイズ主義の考えを学び、帰納論理の問題点の克服を理解する。                    | 森元良太 |
| 10 | アリストテレスの世界観 | アリストテレスの4原因説を学び、現代の枠組みとの違いを検討する。                              | 森元良太 |
| 11 | アリストテレスの世界観 | アリストテレスの世界観とその問題点を理解する。とくに、正常と異常の区別、およびその区別の変遷を学ぶ。            | 森元良太 |
| 12 | ニュートン力学の世界観 | ニュートンによる物理学の内容と方法論の革新を学び、ニュートンが近代以降の科学に与えた影響を理解する。            | 森元良太 |
| 13 | ニュートン力学の世界観 | ニュートン力学にもとづく決定論的世界観を確認し、その世界観と確率概念の関係を検討する。                   | 森元良太 |

| 回  | テーマ          | 授業内容および学習課題                              | 担当者  |
|----|--------------|------------------------------------------|------|
| 14 | ダーウィン進化論の世界観 | ダーウィンによる生物学の内容と方法論の革新を学び、ダーウィンの独創性を理解する。 | 森元良太 |
| 15 | ダーウィン進化論の世界観 | ダーウィンによる進化論的世界観を理解し、その世界観と確率概念との関係を検討する。 | 森元良太 |

【評価方法】

期末レポート（100％）で評価する。レポートはルーブリック評価表にもとづいて評価する。

【備 考】

教科書 ： 使用しない。適宜、使用を配布する。

参考書 ： アレックス・ローゼンバーグ 著 「科学哲学」 春秋社 2011年

【学習の準備】

授業では知識を提供することが多くなるが、哲学は自分自身で考えることが重要な学問である。哲学者の議論を自分で再構成することは、論理的思考法を習得するにも効果的である。そのため、授業後に配布資料をもとに復習をすること（160分）。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。  
 (DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。  
 (DP5) 多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。  
 (DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。